

2022-2037
中長期経営計画

浜松倉庫株式会社



社訓（モットー）

正確に 迅速に 親切に

企業理念

経営理念

地域とともに
誠実に堅実に
歩む

行動規範

10の反省

長期ビジョン

方向性

持続可能で豊かな
社会を実現させる
物流サービスを提供

基本方針

商慣習に捉われず
変えること
変わらないこと

1 正確に

時間厳守は当然のこと、取り扱う品の数や寸法の把握、品物に合わせた配置や管理方法など、業務内容における緻密なまでの「正確さ」は、そのものが浜松倉庫の技術となり信頼に繋がっている。先輩から受け継いだ伝統の技をこれからも活かし続けていく。

2 迅速に

正確さに加え、「迅速」にお客様のニーズに対応できてこそ、物流業界・サービス業界を担うプロフェッショナルといえる。一瞬にして世界へ情報が行き渡るスピード社会の中で、独自のシステムを基盤にした体制と、社員に培われた俊敏な動きで対応していく。

3 親切に

浜松倉庫では人と人を結ぶ心のコミュニケーションを大切に考えている。百年の伝統はいわば「人」が育んできたこと。お客様にも仕事仲間にも、「親切心」を持って行動することが信頼に繋がり、自身のやりがいを生む。いかに笑顔でいられたかを常に意識することで心も成長する。

1 経営理念

……浜松倉庫が目指す理想像

創立以来、常に変わらず守り続けていることは
「**誠実に、堅実に歩むこと**」。

その時代、そこに生きる人を理解してこそ本物を提供できると信じ、
「**人**」を根幹にした姿勢で歩み続けます。



2 行動規範

……社員一人ひとりが日々の行動の指針とする

- 0 1. 同じ失敗を繰り返さなかったか
- 0 2. 今日すべきことを明日にのばさなかったか
- 0 3. わからないことはただちに先輩に聞いたか
- 0 4. 整理整頓をなおざりにしなかったか
- 0 5. 笑顔を忘れなかったか
- 0 6. 遊びすぎ夜ふかししなかったか
- 0 7. 挨拶を気持よくしたか
- 0 8. お客への礼儀にかけることはなかったか
- 0 9. 身だしなみはよかったか
- 1 0. 思い遣りの気持ちを忘れなかったか

1 方向性

▶ **持続可能**で豊かな社会を実現させる
物流サービスを提供します。

.....経済の血液として社会インフラを維持させていく



2 基本方針

1 商慣習に捉われず

業界の商慣習に捉われず、お客様のニーズに対して適切なアンサーをしていきます。

2 変えること

デジタル、AI、ロボット等の先進技術を用い生産性を上げていきます。

3 変わらないこと

安全は、すべてにおいて最優先されるもの。
品質は、信頼を得るために積み重ねるもの。
人材は、何をおいても大切にするもの。
これらは今後も追及し続けます。

1 収益力の強化

- ・医療機器分野における新規荷主獲得による収益増
- ・既存荷主を深耕し物流業務の見直しによる収益増
- ・料金適正化による収益増

2 高付加価値サービスの提供

- ・デジタル化の推進
- ・A I 技術／R P A の活用
- ・協働ロボットの導入

3 経営基盤の強化

- ・従業員教育の高度化による人材育成の実施
- ・デジタル化、A I ・ロボット活用による業務効率化
- ・リスクマネジメントとB C P



中期計画：収益力の強化

1

医療機器分野における新規荷主獲得による収益増

取得ライセンスをもとに、医療機器分野における物流（保管、荷役、流通加工）を誘致していく

→高品質で安心・安全なサービスを提供し、地域オンリーワンを目指す



2

既存荷主を深耕し物流業務の見直しによる収益増

お客様の物流を再度理解し、効率化できることを提案することで経費を削減していく

3

料金適正化による収益増

時代にあった適正な料金であるか見直しを行い、持続可能なパートナーシップを構築していく

中期計画：高付加価値サービスの提供

1

デジタル化の推進

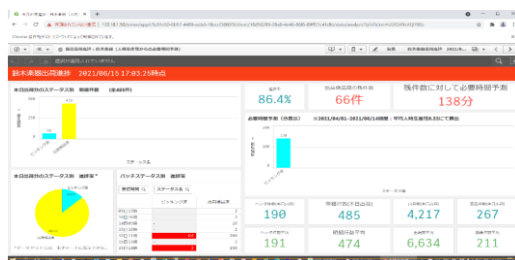
入出荷情報、在庫情報、トレーサビリティなど、様々な情報をすべてデジタルで管理し、お客様、運送会社様へリアルタイムに情報共有することで、新たな価値を創造していく



2

AI技術／RPAの活用

物量予測やロケーションの最適化などにAIを活用、ルーティン業務の自動化を行うことことで、新たな価値を創造し、併せて生産性向上を目指す



- 実験① カメラによる空棚の自動検出
- 実験② センサーによるトラック待機時間の自動収集
- 実験③ 画像認識型による出荷検品

3

協働ロボットの導入

人とロボットが協働し、業務波動に対応していくことで、新たな価値を創造し、併せて生産性向上を目指す



1

従業員教育の高度化による人材育成の実施

事務職：デジタル人材を育成することで、働き方改革からの従業員満足度向上を目指す

現場職：リフトオペレーションスキルに加え、現場課題の発掘から課題解決案の立案までできる人材を育成することで、働き方改革からの従業員満足度向上を目指す

管理職：社会情勢、世の中の動きを捉え、リーダーシップ、データ活用による分析からの業務改善、顧客並びに同業他社とのコミュニケーションを有する人材を育成していく。

2

デジタル化、AI・ロボット活用による業務効率化

時代にあった新技術を活用していくことで、業務の見直し・廃止を進め、部分最適から組織全体の最適化を図り、業務効率化を進める

3

リスクマネジメントとBCP

従来の災害対策に感染症対策を加え、SDG s の観点からも、有事の際、お客様のサプライチェーンへの影響を最小限にし、都市機能として防災拠点となるよう見直しを進める

中期計画：数値目標

(単位：百万円)

	2021 (183期) 実績	2022 (184期) 見込み	2027 (189期) 目標	2021/2027
				増減
営業収益	1,381	1,500	1,700	+ 319
営業利益	▲18	35	77	+ 95
経常利益	26	110	147	+ 121
営業利益率	▲1.3%	2.3%	4.5%	+ 5.8pt

投資計画

安定的な財務基盤を維持し、新センター建設や省力化・省人化への投資を進める

当社のSDG s は創業当初よりはじまっていました。

サプライチェーンにおける重要インフラとして、災害時の都市機能の一つとして、当地域に根付いた経営をしています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

